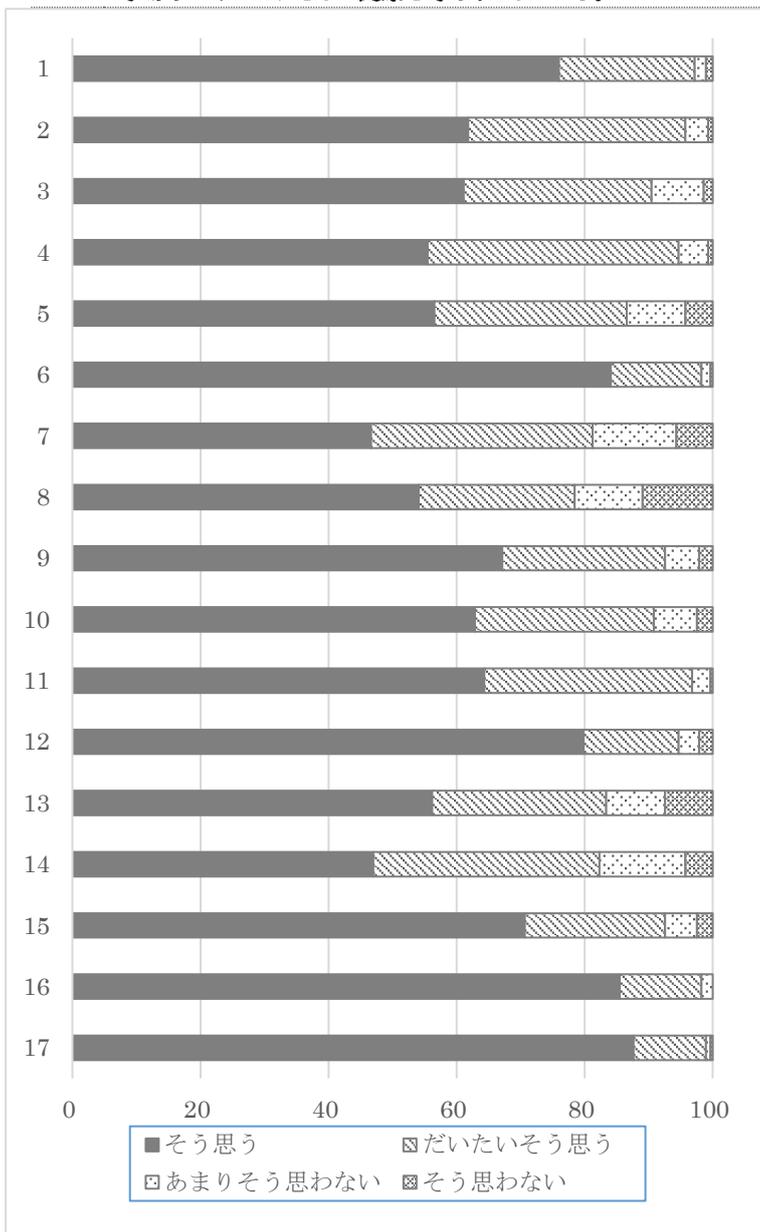


質問項目

- 1 授業で学習していることがわかる。
- 2 学習のきまりやマナーを守り、落ち着いて学習している。
- 3 授業の中で、自分の考えや意見を発表したり、友だちの意見を聞いたりしている。
- 4 授業では、目的(めあて)をもって、学習に取り組んでいる。
- 5 生活科や総合的な学習の時間では、自分から考えたり調べたりして、学習に取り組んでいる。
- 6 違う学年との交流活動は、楽しい。
- 7 生活リズムを整えて生活している。
- 8 中休みや昼休みに、進んで運動している。
- 9 担任の先生だけでなく、学年の先生や違う学年の先生も自分を見守ってくれている。
- 10 自分から、あいさつや返事をしている。
- 11 学校のルールを正しく守り、安全に気をつけて生活している。
- 12 地域やPTAの方々は、自分たちが安全に楽しく学校生活を送れるよう支えてくれている。
- 13 進んで本を読んでいる。
- 14 マイブランや自分づくりパスポートを通して、自分から見通しをもって学んだり、振り返りをしたりしている。
- 15 タブレットを使うことによって、学習が進めやすくなった。
- 16 ルールを守ってタブレットを使っている。
- 17 手あらいやマスクをして健康を守ろうとしている。



考察

全体的に肯定的な回答が多い。特に質問6「違う学年との交流(なかよし交流)」については、ほとんどの児童が「楽しい」と回答している。昨年度は感染症対策のためあまり実施できなかったが、今年度はほぼ毎月1回の交流が定着している。今後も継続して実施し、上級生との学び合いを通して、尊敬の気持ちや協力し合う気持ちを育てていきたい。

質問12「地域やPTAの方々」についても「そう思う」の占める割合が大きい。これは例年同様の結果で、地域や保護者の方々が自分たちのために様々な活動をしてくださり、支えていただいているという意識が高いことが分かる。

質問15・16の今年度から本格的に進めている「タブレットの活用」や、質問17の「感染症対策」についても、「そう思う」の占める割合が大きく、高い意識をもって取り組んでいることが分かる。

学習面では、質問3の「学び合い」について、昨年度に比べて「そう思う」の割合が増えた。コロナ禍であっても、タブレット等を活用しながら、本校が重視しているコミュニケーション能力の育成や主体的・対話的な学びの創造に引き続き力を入れていきたい。

質問8「運動習慣」については、「あまりそう思わない」「そう思わない」の占める割合が若干高かった。コロナ禍で校庭での遊びが制限されたり、長縄集会の回数も減ったりするなど、運動の機会が減ったことは否めない。来年度は、運動に親しむ機会を増やすことを検討していきたい。